



利
445
1

ホ 2
4385
1

明治九年八月上梓

中根淑著

日本小文典

迷花書室藏

迷花書室藏

叙

余嚮ニ日本文典ヲ著シ吾ガ國ノ文法ヲ論ズ中

ニ就キテ疑難アル者ハ從フテ之ヲ論辯ス其ノ

說未必シモ疵瑕無クンバアラズト雖幸ニ時人

ノ棄ツル所ナラズ以世ニ行ハルヲ得然

レ共書中議論甚多ク之ニ加フルニ例文槩古書

ニ由レテ以初學ノ徒或ハ其ノ解シ易カラザル

ヲ憂テ者アリ是ヲ以今特ニ其ノ煩ナル者ヲ

棄テ其ノ簡ナル者ヲ収メ且今時郷校用フル所

ノ書類ニ就キテ其ノ例文ヲ採リ務メテ其ノ義

明治九年八月六日
長崎
迷花書室藏

東方
學校

藏書

利
445
1

ラシテ、會得シ易カラシム、書成ル、分チテ二卷ト
ナシ、之ヲ名ケテ日本小文典ト云フ、小學童生先
此ノ書ニ由リ、文法ノ大綱ヲ領シ、而後其ノ細目
ヲ求メバ、豈解シ難キノ文法アラシヤ、

明治九年七月

中根淑識ス

日本小文典卷之上

中根淑著ス

○言葉ハ、己ノ思フ事ヲ顯ス為ノ者ニシテ、色々
ナル聲ヲ、合ハセテ造リタル者ナリ、此ノ聲ノ目
印ニ用フル者ヲ字ト云ヒ、其ノ字ヲ連子テ、話シ
ノ如ク書キタル者ヲ文ト云フ、元來言葉ニハ、夫
々極リタル順アリテ、話シトナルノ故、其ノ順ヲ
違ヘズニ、字ニテ書クヲ文法ト云フ、故ニ此ノ文
法ハ、己ノ存シ寄リニテ、妄リニ定ムベキニ非ズ、

何レモ昔ヨリ用ヒ來レル言葉ト昔ノ學者ノ記
シ置カレタル所トヲ以正シトスルヲナレバ人
々之ヲ誤ラザル為ニ、文典ヲ學ブベキナリ、
文法ヲ別チテ四種トナス、則文字論言語論文章
論音調論是ナリ、文字論ハ、文字ノ譯ヲ論ジ、言語
論ハ、言葉ノ別チヲ論ジ、文章論ハ、文章ノ締メ括
リヲ論ジ、音調論ハ、聲ノ調子ヲ論ズ、

○文字論

伊呂波

○日本ノ音凡四十七アリ、故ニ其ノ字数亦四十

七アリ、即イロハニホヘトチリヌルヲワカヨタ
レソツ子ナラムウサノオクヤマケフコエテア
サキユメシエヒモヤス是ナリ、此ノ形ノ字ヲ
片假名ト云フ、又いろはにはとちりぬるをわ
かよたれろつね友らむうゐのれくやまけふこ
にてあさきゆめみしゑひもせすノ如キ形ノ字
アリ、之ヲ平假名ト云フ、又いろはにふたふた
ろはれにのこしとせそはれぬる字并此におく
るを濁し之字何れも如キ形ノ字アリ、之ヲ中假名ト云フ、以上何レモ文

字ノ形ニ違ヒアルノミニテ、讀ミ聲ニ於キテハ、
 少モ變リタルヲナキナリ、但シ之ヲ伊呂波ト云
 フ者ハ、其ノ最初ノ三字ヲ採リテ、名ケタルナリ、
 伊呂波ノ外、別ニ『シ』ノ字アリ、昔ハ唯『ム』ノ字ヲ用
 ヒタリシガ、後ニハ『ム』ト『シ』ト、自分ル、トトナリ
 タリ、之ヲ變音ト云フ、此ノ字平假名中假名共ニ
 『ん』ヲ用フ、
 『ツ』ハ時ニ由リテ、聲ノ半分ヲ用フルヲアリ、勝『チ
 テ』ヲ勝『ツ』テト云フガ如シ、是モ亦變音トス、
 片假名ノ文字ヲ畧シ、二字ヲ合ハセテ、一跡トシ

タル者アリ、即『ト』キヲ『ク』、『ト』モヲ『氏』、『コ』トヲ『一』、『シ』テ
 『ノ』ト合ハセタルガ如シ、

五十音

○伊呂波四十七字ヲ、聲ノ都合ニ由リテ、横縦ニ
 並ベタル者ヲ、五十音ト云フ、其ノ中『イ』『ウ』『エ』ノ三
 字ヲ、二處ニ用フル故、合ハセテ五十字トナルナ
 リ、其ノ縦ノ行ヲ縦行ト云ヒ、横ノ行ヲ横行ト云
 フ、即左ノ如シ、

五十音ノ圖

日、大、文、典、卷之七、四

也	麻	波	奈	多	佐	加	阿	阿	行	阿
縦	縦	縦	縦	縦	縦	縦	縦	縦	横	横
行	行	行	行	行	行	行	行	行	行	行
ヤ	マ	ハ	ナ	タ	サ	カ	ア	ア	イ	ウ
イ	ミ	ヒ	ニ	チ	シ	キ	イ	イ	イ	ウ
ユ	ム	フ	ヌ	ツ	ス	ク	ウ	ウ	ウ	ウ
エ	メ	ヘ	子	テ	セ	ケ	エ	エ	エ	エ
ヨ	モ	ホ	ノ	ト	ソ	コ	オ	オ	オ	オ



良縦行
和縦行
子母音

○阿縦行
ア
イ
ウ
エ
オ
ノ
五
ヲ
母音ト云ヒ其ノ餘
ヲ子音ト云フ其ノ故ハ
ア
イ
ウ
エ
オ
ヲ
五
ハ
雜リ
ナキ音ニテ初メ
ア
ト
呼ベバ何時迄引キテモ
ア
ノ聲殘ルナリ
イ
ウ
エ
オ
モ
皆斯クノ如シ其ノ餘
ノ音ハ盡ク雜リタル音ナリ比ハ
阿横行ノカ
サ
タ
ナ
ハ
マ
ヤ
ラ
ワ
ヲ
長ク引キテ呼ベバ初メニ

出シタル音ハ消エテ唯アノ音ノミ残ルナリ、伊
 横行ナレバ、イノ音ノミ残り、字横行ナレバ、ウノ
 音ノミ残ル、衣於ノ横行モ、皆斯クノ如シ、故ニ子
 音ハ、母音ニ由リテ生ズル者ト知ルベシ、
 右ノ内、ヤユヨト、ワヰエヲノ七音ハ、母音ヲ二合
 ハセタル音ナリ、即イアラ誥メテヤ、イウヲ誥メ
 テユ、イオヲ誥メテヨ、ウアラ誥メテワ、ウイヲ誥
 メテヰ、ウエヲ誥メテエ、ウオヲ誥メテトナル
 ナリ、
 前ニ擧ゲタル、五ノ母音ノ外、ヤユヨ及ビワノ四

音ハ、時アリテ、母音トナルコトアリ、即シヤチユリ
 ヨ、クワ等ノ如シ、尤是ハ漢字ノ音カ、又ハ西洋ヨ
 リ来リタル言葉ナラデハ、無キコトナリ、
 濁音
 ○加佐多波縦行ノ二十音ハ、濁リタル音ニ讀ム
 コトアリ、其ノ時ハ、右ノ肩ニ二ノ小キ點ヲ添ヘテ
 印ス、即カギダゲゴザシズビソダチツテド、バ
 ビアベボ等ノ如シ、
 ○波縦行ノ五音ハ、時アリテ唇ヲ彈ク様ニ發ス

ル^レア^リ是^ヲ半濁音ト云フ其ノ時ハ右ノ肩ニ
小キ圈ヲ添ヘテ印トス即^バピ^アベ^ポ等ノ如シ

假名遣

○古キ普言葉ヲ文字ニ移スニハ假名ノ遣ヒ方
明ニ分チアリシトナリ追ヒ々々年ヲ経ルニ從
ヒテ言葉ハ訛リモ出デ便利ニモ就ク故時ニ由
リテハ本ノ音ト違ヒテ響クトアリ比ヘバ人ハ
萬物ノ靈ナリト云フ文ノハ本ノ音ヲ失ヒテ
ワト響クガ如シ然レ共文字ニ書クニハ昔ヨリ
ノ法ニ從ヒテ必^ハト書クベキトナリ此ノ類言

葉中ニ甚多キ故之ヲ違ヘザル様ニ氣ヲ付ケテ

覺エベシ今其ノ一二ヲ擧ゲテ之ヲ示スベシ

イ^イ斗^ヒノ音兎角誤リ易シ比ヘバ擢^カラカヒ鳥^ト居^キ

ヲトリイト書クガ如シ

ハ^ハワノ音亦然リ比ヘバ響^タラクツハ瓦^カヲカラ

ト書クガ如シ

ホ^ホヲオノ音亦然リ比ヘバ顔^カヲカラ鴛^ウ鴦^ウヲオシ

帶^オヲラビト書クガ如シ

ハ^ハエエノ音亦混シ易シ比ヘバ家^カヲイエ枝^エヲエ

ダ繪^エノ具ヲエノ具ト書クガ如シ

シノ音亦然リ、比ヘバモミデ紅葉ヲモミジ、キダ雉ヲキダ
ト書クガ如シ、

ツズノ音亦然リ、比ヘバカサ鵜ヲウスラ、ネズミ鼠ヲ子ヅミ
ト書クガ如シ、

右ノ外、働キニ用フル言葉ノ終リハ、充氣ヲ付ケ
テ知ルベキナリ、比ヘバウラ笑ヲワラウト書キ、
サ消エヲキヘト書クガ如シ、

漢語ハ、漢土ノ文字ヲ音讀ミニシテ、日本ノ言葉
ト同様ニ用フル者ナルガ、其ノ音モ、假名ニテ綴
ルハ、皆極リアルナリ、比ヘバガク學校ノ校ハ、コ

ウト書ク音ニ非ズ、モシ文字ノ字ハ、シヂト書ク音ニ非
ザルガ如シ、是亦心ヲ用フマキナリ、

漢字ノ用ヒ

○日本ノ言葉ヲ、假名ニテ綴ルキハ、或ハ唯一ノ
言葉ニテモ幾字モ用ヒザレバ、書キ載スル一能
ハザル者アリ、然ルニ漢土ノ文字入り来リタル
キ、シ神ト云フ音ノ字ニハ、其ノ意味ニ由リテ、日本
ノカミト云フ言葉ヲ付ケ、ジン人ト云フ音ノ字ニハ、
ヒト、云フ言葉ヲ付ケ、其ノ他総マテノ漢字ニ、
皆斯クノ如ク言葉ヲ付ケテ、遂ニ文字ノ形ヲ目

當テニ、之ヲ訓讀シテ、一々假名ヲ用ヒザル習ハ
 セト為リタリ、是ハ數多ノ假名ヲ用フルヨリ、餘
 程便利ナル所アルヲ以ナリ、然レ共言葉ノ都合
 ニ由リテ、間ニ假名ヲ加ヘザレバ、其ノ意味充分
 ニ通ゼザル故、遂ニ兩ナガラ雜ヘ用フルトナ
 リタリ、

○言語論

名詞

○名詞ハ、物ヤ事ノ名目ニシテ、文章ノ中ニテ、常
 ニ本トナル者ナリ、即天地日月海山人畜草木鳥

普通名詞

虫ヨリ、善惡、貧富、賢愚、喜怒ニ至ル迄、凡名目ヲ立
 テタル者ハ、皆之ヲ名詞ト云フ、其ノ中三種ノ差
 別アリ、一ヲ普通名詞ト云ヒ、一ヲ固有名詞ト云
 ヒ、一ヲ無形名詞ト云フ、
 ○普通名詞ハ、物ノ一類ニ就キテ付ケタル名目
 ナリ、比ヘハ、草ト云ヒ、木ト云ヒ、鳥ト云ヒ、虫ト云
 ヘバ、何レノ草木ニモ、何レノ鳥虫ニモ、通用スル
 名目ニシテ、普通名詞ナリ、是ヨリ一段小分ケシ
 テ、菊ト云ヒ、萩ト云ヒ、松ト云ヒ、梅ト云ヒ、鶴雁、蛇
 蛙ト云フモ、是又何レノ菊、萩、松、梅、鶴、雁、蛇、蛙ニモ、

固有名词

通用スル名目ナレハ、又普通名詞トスルナリ、
 ○固有名词ハ、同類中ハ一物ニ限リテ付ケタル
 名目ナリ、比ヘバ國ニ就キテ云ヘバ、日本支那英
 吉利ノ類、日本内ノ國ニ就キテ云ヘバ、山城大和
 河内ノ類、府縣ニ就キテ云ヘバ、東京府神奈川縣、
 ノ類、山川ニ就キテ云ヘバ、富士山利根川ノ類、其
 ノ外人ニ就キテ云ヘバ、義経辨慶ノ類、松ニ就キ
 テ云ヘバ、唐崎松ノ類、劍ニ就キテ云ヘハ、草薙劍
 ノ類ノ如ク、何レモ唯其ノ一物ニ付ケタル名目
 ニシテ、同類中ニテモ、外ニ通用セサル者ナレバ、

無形名词

数

之ヲ固有名词ト云フナリ、
 ○無形名词ハ、仕業ヤ理窟ノ上ニテ、其ノ名目ヲ
 レ共外ノ品物ノ様ニ形ヲ持タヌ者ヲ云フ、即春
 夏秋冬、東西南北、及ビ信義親愛ノ類ヲ云フ、
 ○前ニ掲ゲタル三種ノ名詞ニ、何レモ数ト云フ
 コアリ、其ノ数ニ又二ノ差別アリ、一ヲ単数ト云
 フ、一ヲ複数ト云フ、
 單数トハ、幾箇アル者ニテモ、唯其ノ内ノ一ヲ頭
 スヲ云フ、複数トハ、二ヨリ以上ノ物ヲ、一ヲ合
 ハセテ頭スヲ云フ、日本ニテハ、是ハ單數、是ハ複

教ト、別ニ文字ヲ分ツトハ無ケレ共、前後ノ文章
 ノ様子ヤ、別ニ言葉ヲ添フルト杯ニテ、其ノ複數
 ナルトヲ頭スナリ、比ヘバ地球ノ表面ニ縱横ノ
 線アリト云フ文ノ線ハ、上ニ縱横ト云フ言葉ア
 ルヲ以、複數ナルト明ナリ、經線ハ皆南北ノ極ヨ
 リ引キ出シタル圓ナルヲ以ト云フ文ノ經線ハ、
 下ニ皆ト云フ言葉アルヲ以、亦複數ナルト明ナ
 リ、此ノ兒等ハ學校ニ行クヲ樂ミト思ヘリヤト
 云フ文ノ兒ハ、別ニ等ト云フ言葉ヲ添ヘタルニ
 テ、是亦明ニ複數タルトヲ知ルナリ、其ノ外、山々

性

川々人々ノ如ク、重子タル言葉ニテ、複數ヲ顯ス
 トモアルナリ、
 ○名詞ノ中、人ニ就キタル言葉ニハ、性ト云フト
 アリ、其ノ性ニ男性女性ノ二アリ、
 ○男性トハ、天子親王ヨリ、殿ト云ヒ、息ト云ヒ、夫
 ト云ヒ、婿ト云ヒ、下男ト云フ如ク、總ベテ男ニ就
 キタル言葉ヲ云フ、
 ○女性トハ、皇后皇女ヨリ、奥ト云ヒ、娘ト云ヒ、妻
 ト云ヒ、嫁ト云ヒ、下女ト云フ如ク、總ベテ女ニ就
 キタル言葉ヲ云フ、

動詞狀
ノ名詞

○動詞ニ作りタル言葉ヲ、其ノ儘名詞ニ用フル
トアリ、之ヲ動詞狀ノ名詞ト云フ、比へバ讀ミト
云フモ、書キト云フモ、富ミト云フモ、本ハ動詞ナ
レ共、讀ミ書キノ外ハ算術ヲ學ブベシト云フ文
ノ讀ミ書キ、及ビ家業ヲ勵メハ富ミヲ致スト云
フ文ノ富ミ杯ハ、皆名詞トシテ用ヒタルナリ、
○異體ノ言葉ヲ以、稀ニ名詞トスルトアリ、即再
歸リ來ルベキカ又其ノ儘ニ飛ビ去ルカト云フ
文ノ儘ト云フ言葉、及ビ彼ノ子ハ彼ノ小女ノ為
ニ親切ナリヤト云フ文ノ為ト云フ言葉ノ如キ

異體
名詞

合成名
詞

是ナリ、是等ハ何處ヘ用ヒテモ、必名詞ト云フ譯
ニハアラ子共、前ニ掲ゲタル文ノ如クニ、用ヒタ
ルキハ、必名詞トナスベキナリ、
○種々ノ言葉ヲ合ハセテ、一ノ名詞ト為シタル
者ヲ、合成名詞ト云フ、比へバ手習ヒト云フハ手
ト云フ言葉ト、習ヒト云フ言葉トヲ合ハセテ、一
ノ言葉トナシタル者、綿入レト云フハ、綿ト云フ
言葉ト、入レト云フ言葉トヲ合ハセテ、一ノ言葉
トナシタル者、其ノ外、書名ノ小學讀本地理初歩
地名ノ磨針峙親知ラズ、器械ノ顯微鏡蒸氣車ノ

日本、大正、卷之七

類モ、皆種々ノ言葉ヲ合ハセタル者ナレ共、其ノ物其ノ處ノ名トナス上ハ、引キ括リテ、一ノ名詞トスルナリ、又熟語ノ運動今年養生ノ類モ、此ノ例ニ從フテ、別ニ其ノ言葉ヲ分タズ、亦一ノ名詞ト見做スベキナリ、

代名詞

○代名詞ハ、人又ハ物事ノ名ハ代リニ用フル者ニシテ、自分ノ名ノ代リニ「吾ト云ヒ、相手ノ名ノ代リニ「汝ト云ヒ、他人ノ名ノ代リニ「彼ト云ヒ、事ヤ物ヲ指シテ、是ト云ヒ、其ト云フ類ナリ、比ヘバ

神武天皇ノ「吾將ニ東征シテ都ヲ中州ニ定メ、ト宣フ中ハ、「吾ト云フハ、神武天皇ガ、自御名ノ代リニ用ヒ給フ者、又馬子病ノ為ニ佛ニ禱ラントテ請フ天皇乃勅シテ曰ハク「汝獨是ヲ為ヨト云フ文ノ「汝ト云フハ、敏達天皇ガ、相手ノ馬子ノ名ノ代リニ用ヒラレ、是ト云フハ、前ノ佛ニ禱ラント云フ事柄ノ代リニ用ヒラレタル如キノ類ナリ、此ノ代名詞ト云フ者ハ、話シノ上ニテモ、文章ノ上ニテモ、誠ニ便利ナル者ナリ、今其ノ種類ヲ分チテ三種トス、則人代名詞、普通代名詞、疑問代名

人代名詞

○人代名詞ハ、總ベテ人ノ名ノ代リニ用フル者ヲ云フ、其ノ中ニ二ノ差別アリ、一ヲ真称代名詞ト云ヒ、一ヲ假称代名詞ト云フ、

真称代名詞

○真称代名詞ハ、言葉ヲ作りタル初メヨリ、真ニ人ノ名ノ代リトシテ、持ヘタル者ヲ云フ、即吾汝彼等ノ類ナリ、天子ガ自朕ト宣フモ、下々ヨリ天子ヲ陛下ト呼フモ、又ハ我々ガ、相互ニ拙者ト称シ、足下ト呼ブ類モ、初メヨリ代名詞ニ作りタル言葉ナレバ、亦

假称代名詞

真称代名詞トスルナリ

○假称代名詞ハ、其ノ言葉ヲ造リタル初メ、代名詞ニ用ヒタルニハ非ザリシカ共、年ヲ経ルニ從ヒテ、代名詞ニモ假リ用フル様ニナリタル者ヲ云フ、即僕ト云フハ、奴僕ノトナルヲ、假リテ吾ノ場所ニモ用ヒ、君ト云フハ、君主ノトナルヲ、假リテ汝ノ場所ニモ用フル類ナリ、其ノ外、臣ト云ヒ、妾ト云ヒ、私ト云ヒ、那方ト云フモ、皆此ノ例ト知ルベシ、
○人代名詞ニハ、必三ノ所有スル者アリ、則人稱

人稱

ト数ト性トノ三ナリ、

○人稱ニ又三ノ別チアリ、第一一人稱、第二二人稱、第三三人稱、

一人稱トハ、自分ノ名ノ代リニ用フル者ヲ云フ、二人稱トハ、自分ノ相手ノ名ノ代リニ用フル者ヲ云フ、三人稱トハ、自分ト相手ノ外ナル人ノ名ノ代リニ用フル者ヲ云フ、即我ハ馬ニ乗ルトヲ好メリト云フ文ノ我ハ、一人稱、汝ハ馬ニ乗ルトヲ好ムカト云フ文ノ汝ハ、二人稱、彼ノ如ク疾ク乗ルトヲ好マスト云フ文ノ彼ハ、三人稱ナリ、此

數

ノ外ノ人代名詞モ、皆此ノ例ナリ、

是其ヲ人代名詞トシテ遣フハ、一人稱ノ是ヲ、時トシテハ二人稱ニモ、三人稱ニモ用ヒ、二人稱ノ其ヲ三人稱ニモ用フ、即是ハ何物ゾ、是ニ尋ヌベシ、其ニ問フベシ、等ノ如シ、

○人代名詞ノ數モ、名詞ノ如ク單複ノ差別アレ共、大抵ハ等供達等ノ言葉ヲ添ヘテ、複數ヲ顯ストニテ、前後ノ文章ノ様子ニテ顯ストハ、至リテ稀ナリ、

性

○人代名詞ノ性ハ、男性・女性・通性ノ三ニ分ツ、是

普通代名詞

二	人	稱	三	人	稱
真	假	普	真	假	普
足下					
汝 ^ナ 汝 ^ナ			是 ^コ 是 ^コ	君 ^{キミ} 那 ^ナ 方 ^{カタ}	是 ^コ 是 ^コ

○普通代名詞ハ、コ・コレ・ソ・ソレ・カ・カレ・ア・アレ等ナリ、是ハ人ニモ物ニモ、又ハ事ニモ、通ジテ代ヘ用フル者ナルガ故、普通代名詞ト云フナリ、是ヲ

ハ、真稱・假稱ニ拘ラス、男ニノミ用フル僕ノ如キハ、男性トシ、女ニノミ用フル妾ノ如キハ、女性トシ、男ニモ女ニモ通ジテ用フル余・汝・是・其ノ如キハ、通性トス、

人稱及ビ性ノ圖

一	人	稱
真	假	普
某 ^{ソノカミ}	僕 ^{ボク}	
男性		
	妾 ^{セツ}	
女性		
余 ^{ワレ} 余 ^{ワレ} 已 ^{オン}	私 ^{ワタクシ}	是 ^コ 是 ^コ
通性		

物事ノ代リニ用フルハ、即是ハ金其ハ銀他ハ鉛
 及ビ虚言ノ悪キ事ハ屢之ヲ聞ケリ等ノ如シ、
 普通代名詞ヲ事物ニ用フルキハ、別ニ人稱ヤ性
 ノ如キ差別ハナケレ共、唯数ノミアルナリ、尤是
 ハ名詞ノ數ノ如ク、前後ノ文章カ、又ハ外ニ等ノ
 字杯ヲ添フル一ニテ、之ヲ顯スナリ、即鏡_ニ至_ヲ鳥
 羽ニ迎ヘテ是_ヲ温明殿ニ安ンズト云フ文ノ是
 ハ、上ニ鏡ト至トノニアルヲ以、複數タル一ヲ知
 ルナリ、
 ○是_コ其_ノ彼_カニ後詞ノノヲ添ヘテ是_コ其_ノ彼_カト

名詞狀
 ノ代名
 詞

遣フキ、上ヲ指ス_トモアリ、又ハ下ヲ指ス_トモア
 ルナリ、即此_ノ鳥ハ其_ノ性水上ニ泳グ_トヲ好メ
 リト云フ文ノ、此_ノ其_ノハ、何レモ鳥ヲ指ス言葉
 ナレ共、一ハ上ヨリ下ヲ指シ、一ハ下ヨリ上ヲ指
 スノ違ヒアルナリ、此ノ上ヲ指ス者ハ、全ク代名
 詞ナレ共、下ヲ指ス者ハ、形容詞ノ形アルヲ以、代
 名詞狀ノ形容詞トスルナリ、
 ○代名詞中ニ、一種名詞狀ノ代名詞ト云フアリ、
 即前後ニ攀グル事物ノ代リニ、右ノ通り左ノ通
 リ杯ト用フル類ナリ、是ハ元來名詞ナレ共、姑假

日本小文典 卷之七 七

疑問代名詞

合成代名詞

リテ代名詞トスルナリ、

○疑問代名詞ハ、人ニテモ、事物ニテモ、明ニ定メテ言ヒ難キ者ニ用フル言葉ナリ、即狼來レリ誰カ出デ、救ヒ給ベ、又此ノ小兒ハ何ノ書ヲ讀メルヤ等ノ文ノ誰何ノ如キ類ヲ云フナリ、

○代名詞中此方其方那方コナクソナクアナク杯ト云フ類ハ、一躰此ノ方其ノ方那ノ方ト云フ一ニテ、他ノ言葉ヲ付ケ合ハセタル者ナレ共、一ノ言葉トシテ用フル上ハ、則合成代名詞トスルナリ、

形容詞

語尾ニキヲ含ミタル形容詞

○形容詞ハ、大抵名詞ノ上又ハ下ニ在ルカ、或ハ外ノ言葉ヲ隔テ、其ノ物事ノ大小長短輕重善惡杯ノ有リ様ヲ精ク顯ス者ナリ、又時ニ由リテハ、代名詞ヲ形容スルトモアリ、即賢キ人聲ヲ動ト揚グル余慨然トシテ等ノ如シ、

○形容詞ノ状ニ三ノ種類アリ、第一語尾ニキヲ含ミタル者、第二外ノ詞ヲ履ム者、第三形ヲ變セザル者、

○第一語尾ニキヲ含ミタル者トハ、即善キ小兒、惡キ小兒、淺キ川、深キ川、樂キ事、美キ花等ノ如シ、

外ノ詞
ヲ履ハ
形容詞

○第二外ノ詞ヲ履ム者トハ、其ノ言葉ノ下ニ、助
 動詞ノタリタルナル、又ハ後詞ノヲ添ヘテ意
 味ヲ顯ス者ナリ、
 タリタルヲ添フル者トハ、即人心騷然タリ、渺茫
 タル沙漠古ノキタル家等ノ類ナリ、
 ナルヲ添フル者トハ、愚ナル人、暖ナル日、平和ナ
 ル馬等ノ類ナリ、
 ノヲ添フル者トハ、廣漠ノ荒原、夢ノ世等ノ類ナ
 リ、
 者トテ添フル者ニ、形容詞トナル者トナラザル
 武藏ノ荒原、君ノ世ト云フ、武藏モ君モ名詞
 ニシテ、形容詞ニ非ズ、此ノ別チハ、ヒノ言葉ノ重

形ヲ變
ゼザル
形容詞

キト輕キト、實ナルト虚ナルトニ
 在リ、能ク心ヲ付ケテ察スバシ、
 ○第三形ヲ變ゼザル者トハ、即巉巖突兀、風蕭々
 等ノ類ナリ、是ハ語尾ヲ變化スルデモ無ク、外ノ
 詞ヲ履ムデモ無ク、其ノ儘ニテ、直ニ形容詞トナ
 ル者ナリ、
 右三法ノ内、形容詞ヲ二重子テ、青、白、色、高、ク、大
 ナル、山、杯ト用フルコトアリ、此ノ上ノ形容詞ノ語
 尾ヲ、青キ、高キト云ハザル者ハ、下ノ白キト、大ナ
 ルトヘ續クル、言葉ノ都合宜シカラザレバナリ、
 其ノ他之ヲ推シテ知ルベシ、

○凡形容詞之ヲ分チテ三種トス、一ヲ數形容詞トシ、一ヲ尊稱形容詞トシ、又一ヲ一般形容詞トス、

○數形容詞ハ、物ノ數ヲ形ス者ナリ、之ニ基数序數ノ二アリ、

○基数ニ又二ノ差別アリ、一ヲ定數ト云ヒ、一ヲ不定數ト云フ、

○定數トハ、一・二・三・四・ヨリ、百・千・萬・億ニ至ル迄ノ數ヲ以形容スルヲ云フ、即六十間一町等ノ如シ、數ハ、時ニ由リテ、動詞又ハ副詞ヲ形容スル一ア

リ、即之ヲ一統ス、一時ニ來ル等ノ如シ、

數ハ、何レモ形容詞ナレ共、一ガ一、一二ガ二ト云フ如ク、唯勘定ノ目錄ニノミ攀グル類ハ、品物ノ數ヲ形容スルニ非ザレバ、皆名詞トスルナリ、

○不定數トハ、多キ人、寡キ机、數多ノ小兒、僅ノ書物ノ如ク、物ノ多少ニ拘ラス、其ノ數ノ定ナラス

キニ用フル者ヲ云フ、

名詞代名詞ノ複數ヲ顯ス為ニ用フル、友達、子供、彼等等ノ達、供等ノ類モ、亦不定數ト知ルベシ、

○序數トハ、物事ノ次第順序ヲ並バ立ツルキ、用

尊称形
容詞

フル数ヲ云フ、即第一代第二代三番四番卷五卷六等ノ如シ、是ハ基数ニ用フル数字ト、其ノ形少モ變ラ子共、第番卷杯ノ名詞ニ添フテ、其ノ用ヒ方ヲ異ニスルナリ、分ケテ云ヘバ、基数ハ物ノ勘定スル為ノ数、序数ハ順ヲ立ツル為ノ数ト心得ベシ、

○尊称形容詞ハ、總ベテ言葉遣ヒヲ丁寧ニスル片用フル者ナリ、即御簾御祝ヒ御殿等ノ如シ、此ノ言葉ハ、唯名詞ヲ形容スルノミナラズ、外ノ言葉ヲ形容スルコトアリ、即御手前御早ク御讀ミナ

一般形
容詞

サレ、御勉強ナル事等ノ如シ、
世間ノ人、女子ヲ呼ブキ、其ノ名ノ上ニ、オラ添ヘテ、オ松オ竹ト云フモ、元ハ敬フ意味ヨリ出デタルコト故、是亦尊称形容詞トスルナリ、
○一般形容詞ハ、数形容詞ト、尊称形容詞トノ二ヲ取り除ケタル、其ノ外ノ形容詞ヲ云フナリ、
○形容詞ハ、種々ノ言葉ヨリ、ナルノ等ヲ履ミテ之ヲ形ルコトアリ、即其ナル人ト云フハ、代名詞状ノ形容詞、口惜ノ事ト云フハ、動詞状ノ形容詞、何時ノ世ト云フハ、副詞状ノ形容詞ナリ、

外ノ形
容詞ト
ナル者

合成形
容詞

日本小文典

○形容詞ニモ、合成シタル言葉甚多シ。物憂キ時、
乘リ善キ馬ノ物ハ名詞、乘リハ動詞ナレ共、憂キ
善キト合シテ、熟語トナリタル上ハ、一ノ形容詞
ト見做スベキナリ。

日本小文典卷之上終リ

